

海軍公報

(部内限) 第四千三百五十五號

昭和十八年四月一日(木)

海軍大臣官房

○令 達

官房經第三六二號

大東亞戰爭(支那事變ヲ含ム)中雇員又ハ傭人大東亞戰爭ニ關スル勤務ニ從事シ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ廳長(特設廳長ヲ含ム)ハ各號所定ノ臨時増給ヲ爲スコトヲ得

昭和十八年四月一日

海軍大臣

一 戰死シタルトキ又ハ戰傷ヲ受ケ之ガ爲該戰傷ノ日ヨリ三年以内ニ危篤ニ陥リ若ハ健康上將來雇員、傭人タルニ適セズ解雇、解傭セララルトキ

雇員 月給 四圓五十錢以内
日給 十五錢以内

傭人 日給 十五錢以内

二 戰地又ハ特殊地域(戰地トハ接壤地域又ハ戰地ト緊密ナル關係ヲ有スル航空部隊ノ基地ヲ謂フ)ニ於

テ業務上戰傷以外ノ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ之ガ爲該負傷又ハ該罹病ノ日ヨリ三年以内ニ危篤ニ陥リ又ハ健康上將來雇員、傭人タルニ適セズ解雇、解傭セララルトキ

雇員 月給 三圓以内
日給 十錢以内

傭人 日給 十錢以内

三 戰地ニ於テ前二號ニ規定スル以外ノ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ之ガ爲該負傷又ハ該罹病ノ日ヨリ三年以内ニ危篤ニ陥リ又ハ健康上將來雇員、傭人タルニ適セズ解雇、解傭セララルトキ

雇員 月給 一圓五十錢以内
日給 五錢以内

傭人 日給 五錢以内

○辭 令

海軍技術大佐 加藤 恭亮
玉野海軍監督官事務所及受持區域内ニ在ル艦裝員事

海軍公報(部内限) 第四千三百五十五號 昭和十八年四月二日

海軍公報(部内限) 第四千三百五十五號 昭和十八年四月一日

務所ニ要スル經費支拂ノ爲資金前渡官吏ヲ命ス(一頁)
支出官 海軍省經理局長

○ 雜 款

○將旗掲揚
第十九聯合航空隊司令ハ四月一日將旗ヲ土浦海軍航空
隊ニ掲揚セリ

○正誤(齊)
三月二十二日附公報(部内限) 辭令欄二六三頁上段五
行目「昭和十七年二月一日」ハ「昭和十七年十二月一
日」ノ誤

海軍公報 (部内限) 第四千三百五十六號

海軍大臣官房

昭和十八年四月二日(金)

○令 達

官房經第三六七號

昭和十六年官房第五三一六號中左ノ通告正ス

昭和十八年三月三十一日

海 軍 大 臣

第一號第三項ヲ削ル

(参照) 昭和十六年官房第五三一六號ハ國民勸勞報國隊員ヲ勸勞ニ從事セシメタル場合ノ給與等ノ取扱ニ關スル件ナリ

官房人機密第一〇八號

左表ニ該當スル現役期間特例ニ依ル士官ニシテ海軍武官服役令第八條第一項ノ規定ニ依ル現役ニ服スルコトヲ志願スルモノハ昭和二年達第五百十三號ノ規定ニ拘ラズ同號ニ定ムル様式ニ依リ本年八月三十一日(技術科ノ者ニ在リテハ本年七月三十一日)迄ニ到達スル如ク願出ヅベシ
服役延期中ノ者其ノ他曩ニ前項ノ現役志願ヲ許可セラ

レザリシ者モ更メテ出願スルコトヲ得

昭和十八年三月三十一日

海 軍 大 臣

科 別	任用又ハ採用セラレタル期間
軍 醫 科	昭和十六年九月十五日以前
藥 劑 科	自昭和十五年五月二十日 至同 十六年八月二十日
主 計 科	自昭和十六年九月十五日 至同 十七年九月三十日
技 術 科	自昭和十六年九月十五日 至同 十七年九月三十日

官房需機密第一七一號

昭和十七年官房機密第三四五七號中「民政部」ノ下ニ「聯合艦隊所屬ノ特設海軍補充部」ヲ加フ

昭和十八年三月三十一日

海軍公報 (部内限) 第四千三百五十六號

昭和十八年四月二日

二八九

海軍公報(部内限) 第四百三十五十六號 昭和十八年四月二日

海軍大臣

(参照) 艦艇用品、燃料取扱例規一八二ノ八頁
機密會計法規類集二四一頁

○通牒

官房備機密第七號ノ一四

昭和十八年三月三十一日

海軍省副官

各廳長殿

郵便物ニ關スル件通牒

昭和十七年官房機密第一二八〇號通牒首題ノ件別冊郵便物ニ關スル例規中左記ノ通改メラレ候

記

附錄部隊區別符表(其ノ一)中「第三百三十一設營隊
ウ壹九六」ヲ加ヘ末尾ニ「第二十四防空隊 ウ貳四六」
「分遣隊 ウ貳四七」ヲ加フ
同(其ノ四)中「第三百三十一設營隊 セ六五」ヲ削ル

○辭令

内令提
要登載

臺灣總督府屬 藤木 義郎
海軍警備府附ヲ免ス(海軍省)

海軍技術少佐 寺田 重義
購買名簿調査委員會委員ヲ命ス(海軍省)

海軍技師 今村 正秋
室蘭海軍監督官事務所及受持區域内ニ在ル艤裝員事

務所ニ要スル經費支拂ノ爲資金前渡官吏ヲ命ス
海軍技術少佐 深井 六郎

資金前渡官吏ヲ免ス(以上海軍省)
海軍省經理

局長)
海軍豫備中尉 青柳 勲(風早)

特務艦風早審議委員ヲ命ス(海軍艦政本部)

局長)

局長)

○雜款

○電報略語
海軍省電信課長宛着信和文電報略語(有線)ヲ左ノ通

登記セラレタリ
トウケウ、ウキシロ

○郵便物發送先
宛先ハ下段ノ通記載ノコト但シ()内ハ記載セザル

コト

コト

コト

一 北上	吳局氣付(第二十六軍用郵便所經由)北上
一 第二十一驅潛艇	横須賀局氣付(第十軍用郵便所經由)第二十一驅潛艇
一 嚴島	佐世保局氣付(第四十一軍用郵便所經由)嚴島
一 第一測量隊	横須賀局氣付 〔ツ五〇 七四六〕
一 利根司令部、利根、筑摩	同 (第十軍用郵便所經由) 利根司令部、利根、筑摩
一 第四艦隊司令部	同 〔ツ五〇 七八七〕司令部
一 第二百二海軍軍需部	ノクワリ支部 吳局氣付 〔七貳參 七貳六〕
一 隼鷹司令部、隼鷹、飛鷹	横須賀局氣付(第十軍用郵便所經由)隼鷹司令部、隼鷹、飛鷹

海軍大尉正七位清家二郎外十一名三月二十日飛行訓練中遭難殉職、同二十四日横濱航空基地ニ於テ佛式ニ依リ海軍葬儀執行セリ

海軍公報(部内限) 第四千三百五十六號

昭和十八年四月二日

二九一

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十八年四月二日(金)
海軍大臣官房

○ 通 牒

官房軍第三六四號

昭和十八年四月一日

海 軍 次 官

在京各廳長殿

靖國神社臨時大祭及例大祭ニ關スル件通牒

今般靖國神社臨時大祭及例大祭舉行相成候ニ付テハ在京諸官ノ參列ハ左記ニ依ル義ト了知相成度

追テ四月二十四日 行幸、行啓ノ御次第ハ別紙ノ通ニ有之候

尙 行幸、行啓ニ關シテハ正式仰出サルル迄極秘扱ニ付了知相成度

記

月 日	參 列 者	服 裝	參 着 時 刻
四月二十二日 (招魂式當日)	一、合祀者所管各部ノ代表者 一、在京ノ各官衙、學校ヨリ勅任官總代、奏 任官總代、判任官總代(各部ノ長 之ヲ定ム)	武官 軍裝(長劔又ハ軍刀) 文官 勳章記章全部	午後七時迄ニ式場ニ參着

海軍公報 (部内限) 號外

<p>四月二十三日 (大祭第一日) (儀當日)</p>	<p>一、海軍大臣 一、在京ノ武官(高等官ノミ)、勅、奏任文 官 一、合祀者所管各部ノ代表者</p>	<p>同 右</p>	<p>從軍服(軍刀)又 ハ通常服 勳章記章全部</p>
<p>四月二十四日 (大祭第二日) (儀當日)</p>	<p>一、海軍大臣 一、在京ノ各官衙(海軍省ニ在リテハ各局)、學校ヨリ勅任 官總代、奏任官總代(各部ノ長 之ヲ定ム) 一、合祀者所管各部ノ代表者 一、親任官及勳一等ノ諸官</p>	<p>同 右</p>	<p>午前九時三十分迄ニ拜殿 前ニ參着但シ親任官及勳 一等ノ諸官ハ午前十時迄 ニ參着</p>
<p>四月三十日 (例大祭當日)</p>	<p>一、海軍大臣 一、在京ノ武官(高等官ノミ)、勅、奏任文 官</p>	<p>同 右</p>	<p>午前八時三十分迄ニ拜殿 ニ參着 (午前九時勅使參向)</p>

(別紙)
一、行幸御次第
午前十時 御出門
同十時十分頃 着御

參着諸員ハ中門内ニ於テ奉迎ス

臨時大祭委員長御先導陸海軍大臣扈從ス

御拜

午前十時二十分頃 發御 還幸

諸員ノ奉送ハ奉迎ノトキニ準ズ

二、行啓御次第

午前十時三十五分 御出門

同十時四十五分頃 着御

參着諸員ハ中門内ニ於テ奉迎ス

臨時大祭委員長御先導陸海軍大臣扈從ス

御拜

午前十時五十五分頃 發御 還啓

諸員ノ奉送ハ奉迎ノトキニ準ズ

海軍公報

(部内限) 第四千三百五十七號

昭和十八年四月五日(月)

海軍大臣官房

○令 達

官房軍第三六〇號
 雜役船ノ所屬ヲ左ノ通變更ス
 昭和十八年四月一日

海軍大臣

公稱番號	船種	舊所屬	新所屬	定數別	官房人機密第一二四號 本年四月一日現在左記上欄各部ノ職名ヲ有スル者ハ特ニ發令セララルモノノ外別ニ辭令ヲ用ヒズシテ各下欄ノ相當職員ニ補命セラレタル義ト心得ベシ 昭和十八年四月一日
第四五九號	特型運貨船 (十四米)	佐世保防備隊	佐伯防備隊	臨時附屬	記 海軍大臣
第五〇八三號	同 (同)	佐伯海軍航空隊	佐伯海軍航空隊	臨時附屬	
第二三五號	飛行機救難船 (三百噸)	佐伯海軍航空隊	佐伯海軍航空隊	臨時附屬	
第一〇五號	内火艇 (十二米)	岩國海軍航空隊	宿毛海軍航空隊	定數	
第九〇七號	内火艇 (同)	岩國海軍航空隊	宿毛海軍航空隊	定數	
第三二九號	傳馬船 (八米)	馬公警備府	馬公警備府	定數	馬公海軍病院
第一三九號	曳船 (百五十噸)	馬公警備府	高雄海軍港務	定數	馬公海軍經理部
					馬公海軍港務部
					高雄海軍港務部
					高雄海軍軍需部
					高雄海軍軍需部
					高雄海軍病院
					高雄海軍病院
					高雄海軍經理部
					高雄海軍經理部

海軍公報(部内限) 第四千三百五十七號

昭和十八年四月五日

二九三

海軍公報(部内限)第四千三百五十七號 昭和十八年四月五日

二九四

馬公海軍建築部	高雄海軍建築部	馬公警備府軍法會議	高雄警備府軍法會議	各海軍航空廠器材部	各海軍航空廠補給部	南西方面艦隊民政部	南西方面海軍民政部	南西方面艦隊ボルネオ民政部	ボルネオ民政部	南西方面艦隊セレベス民政部	セレベス民政部	南西方面艦隊セラム民政部	セラム民政部	吳潛水戰隊	第十一潜水戰隊
<p>官房經第四〇二號 大正六年官房第一一五一號別表中左ノ通改正ス 昭和十八年四月一日</p> <p>海軍大臣 築城航空隊司令ノ次ニ左ノ各項ヲ加フ</p>															
出水航空隊司令	六〇〇〇〇	黄流航空隊司令	六〇〇〇〇	台南航空隊司令	六〇〇〇〇	<p>官房經第四〇八號 昭和十四年四月二十二日ヨリ同十五年四月二十一日迄 ノ間ニ見習工員ヲ成業セル工員ニ對シ海軍工員規則第 九十九條ノ規定ニ依リ本年四月誓約賞與ヲ支給スベシ 誓約賞與支給標準ハ誓約期間滿了ニ依リ昇級シタルト キノ貸錢六十日分トシ誓約期間滿了ノトキ海陸軍ニ徵 集又ハ召集中ノ者ニ對シテハ再備又ハ復歸ノ際其ノ貸 錢ニ依リ之ヲ支給ス但シ廳長ハ必要ニ應ジ適宜減額支 給スルコトヲ得 本令ハ職員ニ之ヲ準用ス 昭和十八年四月一日 海軍大臣</p>									
鹿兒島航空隊司令	六〇〇〇〇	宿毛航空隊司令	六〇〇〇〇	厚木航空隊司令	六〇〇〇〇	豐橋航空隊司令	六〇〇〇〇	<p>(參照) 大正六年官房第一一五一號ハ司令長官以下ニ於テ要スル接 待費定額設定ノ件ナリ(會計法規類集一卷一一三頁)</p>							

官房經機密第一八六號

艦船部隊等ノ經營等ノ取扱特例中左ノ通改正ス

昭和十八年四月一日

海軍大臣

第八條中「第四」ヲ削ル

第四章ノ次ニ左ノ如ク加フ

第五章 豫算

第十九條ノ二 艦船部隊及特設各廳ノ資金前渡官吏支

拂豫算各目ノ増減ヲ要スルトキハ之ヲ專行スルコト

ヲ得此ノ場合ニ於テハ海軍會計規程第十五號書式ノ

前渡資金増減報告書ヲ支出官ニ送付スベシ

別表(甲)及(乙)中「第一、海南、第四各海軍經理

部」ヲ「第一、海南各海軍經理部」ニ改メ第四海軍經

理部長ノ項ヲ削ル

(參照) 昭和十七年九月二十一日官房機密第一一八八二號(海軍機

密會計法規類集一頁)

官房經機密第一八七號

當分ノ間第四艦隊ノ特設廳ノ支拂ニ屬スル經費ハ艦隊

經費支辨トス

昭和十八年四月一日

海軍大臣

官房經機密第一八八號

當分ノ間支那ニ於テハ昭和十五年官房機密第一三七九

號ノ三ノ規定ニ拘ラズ特ニ必要アル場合ヲ除キ海南島

ノ外軍用手票ヲ使用セズ

昭和十八年四月一日

海軍大臣

(參照) 前記官房機密號ハ支那、香港及佛領印度支那ニ於ケル軍用

手票使用ニ關スル件ナリ(海軍機密會計法規類集一九頁)

官房經機密第一九一號

昭和十八年四月一日

海軍大臣

關係工作廳長殿

臨時軍事費購入材料物品組入充足ニ關ス

ル件訓令

昭和十七年法律第二十四號ニ依ル臨時軍事費購入材料

物品ノ昭和十八年度海軍工廠資金會計ヘノ組入ハ總額

千萬圓トシ成ルベク速ナル時期ニ逐次實施シ本年度中

ニ之ヲ完了スベシ

實施ノ細目竝ニ之ニ伴フ資金分配額ニ對スル調節ニ關

シテハ海軍艦政本部長又ハ海軍航空本部長及海軍省經

理局長ヲシテ通牒セシム

海軍公報(部内限)第四千三百五十七號

昭和十八年四月五日

二九五

海軍公報(部内限)第四千三百五十七號 昭和十八年四月五日

二九六

官房機密第一九四號

大東亞戰爭中除籍又ハ廢止セラレタル艦船部隊(特設艦船部隊ヲ含ム)ニ在リテハ艦營需品經理規程第三十四條、海軍給與令施行細則第一百九條第一項及第一百十三條、海軍治療品經理規程第二十八條並ニ戰時特別給與品經理規程第六條ノ規定ニ依ル當該期ノ受拂現況報告ハ之ヲ省略スルコトヲ得

昭和十八年四月二日

海軍大臣

附則

昭和十七年官房機密第一二六四二號ハ之ヲ廢止ス

(參照) 昭和十七年官房機密第一二六四二號ハ艦營需品受拂報告省略ノ件ナリ

○ 通牒

契庶機密第一一六號

昭和十八年三月二十日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

統制契約書ニ關スル件通牒

首題ノ件別表ノ通契約締結致候條了知相成度

追而契約書ハ所要ノ向ニ別途配付ス
(別表添)

經豫機密第三號ノ三六

昭和十八年四月一日

海軍省經理局長

關係各支出官
關係各資金前渡官吏 殿

軍用手票使用ニ關スル件通牒

昭和十五年經豫機密第三號ノ一四首題ノ件中左ノ通改正致候

三中「支那(北支方面及厦門地方ヲ除ク、以下同シ)」ヲ「支那(軍用手票使用地域ニ限ル、以下同シ)」ニ改ム

(參照) 海軍機密會計法規類集二〇頁

○ 辭令

久保 且治

第二遣支艦隊ニ於ケル水先業務囑託ヲ解ク(昭和十八年海軍省)

臺灣總督府交通局副參事 前 美好

馬公警備府ニ於ケル軍事郵便事務囑託ヲ解ク

(昭和十七年
五月二十五日同)

第二南遣艦隊事務囑託

久保 辰二

自今報酬年額貳千拾圓ヲ給ス(昭和十七年
五月二十五日同)

久保田 孫一

海軍省南方政務部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任
官待遇トス(昭和十七年
五月二十五日同)

岩本 美喜

長壽山丸ニ於ケル通信事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千七百拾五圓ヲ給シ部内限奏任官待
遇トス

町田 秀司

第一南遣艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千六百五拾圓ヲ給シ部内限奏任官待
遇トス(以上二日同)

伊藤 淺次郎

第二南遣艦隊事務囑託ヲ解キ海軍省南方政務部ニ於
ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額參千六百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇
トス(二日同)

岩崎 長次

ニューギニア民政部ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(二日同)

同)

典獄 武子 喜久治

第四艦隊ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(二日同)

篠原 善晴

小野 勉

齋藤 輝男

丹羽 秀太郎

大槻 稔

南西方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待
遇トス(二日同)

志賀 規一

工藤 一之

(各通)

特設海軍燃料廠補給部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限
奏任官待遇トス

厚生技師 村井 進

海南海軍特務部ニ於ケル業務ヲ囑託シ報酬年額貳千
八百四十四圓ヲ贈與ス

岩尾 種教

特設海軍燃料廠補給部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限
奏任官待遇トス(以上二日同)

海軍公報(部内限) 第四千三百五十七號

昭和十八年四月五日

二九七

南西方面艦隊ホルネオ民政部ニ於ケル事務ヲ囑託シ
部内限奏任官待遇トス(十一月同)

(各通)

伊藤 克巳
谷口 清治

第二南遣艦隊ニ於ケル業務囑託ヲ解ク(三月同)

山田 正

南西方面艦隊セレベス民政部ニ於ケル事務ヲ囑託シ
部内限奏任官待遇トス(十二月同)

(各通)

佐藤 寛雄
新居 幸一
大江 重吉
鶴飼 章一
森 繁雄
江野 佐和喜

南西方面艦隊民政部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏
任官待遇トス(十一月同)

安藤 良治

支那方面艦隊ニ於ケル水先業務囑託ヲ解ク(七月同)

中西 龍雄

南西方面艦隊民政部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千百參拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇
トス

遞信局書記 福田 清

ニューギニア民政部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏
任官待遇トス

塚本 繁

海軍省南方政務部ニ於ケル業務囑託ヲ解ク

(各通) 千六百五拾圓 丸山 達雄
千百參拾圓 高田 弘

ニューギニア民政部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額(各頭書ノ通)ヲ給シ部内限奏任官
待遇トス(以上三月同)

津田 官

南西方面艦隊民政部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏
任官待遇トス(十一月同)

清水 正雄
村上 芳雄

(各通)

海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

兒嶋 良一

ニューギニア民政部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千貳百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇ト
ス

猪伏 清

南西方面艦隊民政府ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

武部 和雄

岩國海軍航空隊ニ於ケル教務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千參百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

杉山 一太郎

南西方面艦隊セレベス民政部ニ於ケル業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス(以上三三〇同)

高橋 健太郎

第八海軍建設部ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(三三〇同)

市川 正夫

南西方面艦隊民政府ニ於ケル事務囑託ノ報酬トシテ金九百圓ヲ贈與ス

南西方面艦隊民政府ニ於ケル事務囑託ヲ解ク(三三〇同)

勝沼 圭五

南西方面艦隊民政府ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千六百五拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(三三〇同)

第十一航空艦隊齒科治療業務囑託

須田 爲總

南東方面艦隊齒科治療業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額貳千四百貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

第一南遣艦隊齒科治療業務囑託

若槻 正義

第三艦隊齒科治療業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千參百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

河野 通春

第一南遣艦隊齒科治療業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千八百貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上三三〇同)

秦泉寺 正一

南西方面艦隊民政府ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千四百七拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(三三〇同)

海軍豫備學生(飛行科) 長谷川 健

海軍豫備學生(兵科)ヲ命ス

大間 慶治

(各通)

杉本 勝

海軍豫備學生(飛行科)ヲ免ス

海軍公報(部内限) 第四千三百五十七號

昭和十八年四月五日

二九九

松本 等

海軍豫備學生(整備科)ヲ免ス(以上三ノ同)

海軍法務少佐 飯田 信一

高等軍法會議檢察官兼豫審官ヲ命ス

東京軍法會議檢察官兼豫審官ヲ命ス

海軍服制研究調査會委員ヲ命ス

船舶海難事故處理委員會委員ヲ命ス

海軍法務科士官實務修習考試委員ヲ命ス

臺北帝國大學教授 馬場 爲二

(各通)

臺灣總督府技師兼臺灣總督府工業研究所技師 平田 武次郎

臺灣總督府技師兼臺灣總督府工業研究所技師 田代 豊

高津警備府ニ於ケル研究業務ヲ囑託ス

臺北帝國大學助手 瀧野 慶則

高雄警備府ニ於ケル研究業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

渡邊 興七

吳海軍警備隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

秋田鑛山専門學校教授 三河内 謙爾

特設海軍燃料廠補給部ニ於ケル事務ヲ囑託ス

支那方面艦隊ニ於ケル事務囑託ヲ解ク

樺山 丑二

(各通)

海軍技術研究所ニ於ケル研究業務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

支那方面艦隊齒科治療業務囑託

尾本 愛道

霞ヶ浦海軍航空隊齒科治療業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千六百五拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

佐藤 軍平

支那方面艦隊齒科治療業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千八拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

松井 正二

深川 修吉

津田 清一

佐藤 博一

森川 辰雄

中西 修治

田中 信高

能村 嘉年

三〇〇

(各通)

平林 四郎
山中 晃
支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

太田 精一
第十一海軍航空廠工員養成所教務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千參百圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

門 一郎
第二十一海軍航空廠工員養成所教務ヲ囑託ス

但シ報酬年額貳千五百拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

東京帝國大學助教授 山口 悟郎

海軍航空技術廠ニ於ケル研究業務ヲ囑託シ報酬年額參百圓ヲ贈與ス

宮田 尙一

海軍航空技術廠支廠ニ於ケル研究業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額百五拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

原 國利
森下 森松

(各通)

橋爪 留雄
鈴木 長太郎
香月 源吾
仲山 幸人
藤本 健治
田村 彦二
海軍省事務ヲ囑託シ部内限判任官待遇トス

宗岡 卓爾
第十一海軍航空廠工員養成所教務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

(各通)
東京帝國大學教授 藤高 周平

同 阪本 捷房

横須賀海軍工廠通信實驗部ニ於ケル業務ヲ囑託シ報酬年額參百圓ヲ贈與ス

高富 保全

小田 壽平

佐野 一三郎

鈴木 瀧太郎

桐ヶ谷 正雄

竹田 克太郎

(各通)

海軍公報(部内限) 第四千三百五十七號 昭和十八年四月五日

三〇一

木田 徳太郎
工藤 忠吉

海軍省事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

(各通)

大黒 寅太郎
新井 孝沖

第四海軍經理部ニ於ケル事務ヲ囑託シ部内限奏任官待遇トス

板 東 貢

小松島海軍航空隊齒科治療業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額七百貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

麻 永 一 臣

支那方面艦隊ニ於ケル事務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千七百四拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス

濱 島 毅

第四海軍燃料廠ニ於ケル業務ヲ囑託ス

但シ報酬年額千貳拾圓ヲ給シ部内限奏任官待遇トス(以上一四カ同)

海軍主計中尉 川 畑 一 皆

第二八一海軍航空隊ニ要スル給與及其ノ他ノ經費支

拂ノ爲艦隊經費分任出納官吏ヲ命ス(海軍支出官海軍省經理局長)

○ 雜 款

○正誤
三月二十九日附公報(部内限) 辭令欄海軍技師大原丈一及同村井藏吉ノ辭令ハ何レモ取消ス

四月二日附公報(部内限) 令達欄一五一頁上段二行目「支那事變ニ關與シ」ハ「支那事變ニ關與シ」ノ誤

(別表)

統制契約締結一覽表

(昭和十八年四月五日海軍公報(部内限))

統制契約番號	契約品名	請負社	契約締結月日	契約期間
一七經契第一三號ノ二	赤血鹽、第二鐵アンモン酸	合資會社奥野清商店	一八一二一一	至自八一八二九三〇
一七經契第一六〇號	オリザニン錠	三共株式會社	一七一三一一	至自八一七二二三〇
一七經契第一六一號	滋強ビーゲン錠	帝國藥品株式會社	一七一三一一	至自八一七二二三〇
一七經契第一六二號	エーデー	水産化學工業株式會社	一七一三一一	至自八一七二二三〇
一七經契第一六三號	ハリー	株式會社田辺元三郎商店	一七一三一一	至自八一七二二三〇
一七經契第二〇五號	昭和十七年度船體機關兵器用鋼管	住友金屬工業株式會社、日本鋼管株式會社、日本特殊鋼管株式會社	一七一七一一	至自八一七六七三〇
一七經契第二五五號	球軸受コロ軸受	日本精工株式會社、東洋ベアリング製造株式會社、光洋精工株式會社	一七一〇一一	至自八一七一九三〇
一七經契第五〇二號	臺灣地區石綿スレ	淺野セメント株式會社、淺野スレート株式會社、淺野スレート株式會社大阪支店	一七一八一一	至自八一七八七三二
一七經契第五一五號ノ二	港用品タル鉛	岩下製鋼株式會社、大阪製鋼株式會社、大阪製鋼造機株式會社、株式會社金子鑄鋼所、横山工業株式會社、大和鋼機株式會社、國光製鋼業株式會社、株式會社武藤電氣製鋼所、壽重工業株式會社、新重工業株式會社	一七一七二八	至自八一七三四三一
一七經契第五一八號	港用品タル繫留浮標	鶴見重工業株式會社、大垣鐵機械株式會社	一七一〇一九	至自八一七三三三九

海軍公報

(部内限) 第四千三百五十八號

昭和十八年四月六日(火)

海軍大臣官房

○通牒

施本機密第七九二五號

昭和十八年三月二十四日

海軍施設本部長
海軍省經理局長

各海軍建築部長
各特設海軍建築部長
各海軍經理部長
各特設海軍經理部長

陸上部隊急速出動時ノ供給材料ニ關スル
件照會

特別陸戰隊、防空隊其ノ他陸上部隊急速出動ノ際ニ要
スル各種應急器材中各工廠工作部(特設工作部ヲ含
ム)又ハ軍需部(特設軍需部ヲ含ム)ニ於テ調達困難
ナルモノニ對シ當該部隊ヨリ要求アリタル場合手持品
アルトキ又ハ調達可能ノトキハ臨時軍專費(款項)、營
繕費、建築費支辨トシ適宜供給ノ上別紙様式ニ依リ速
ニ施設本部宛報告書送付相成度

(別紙二葉添)

經豫第七號ノ二六

昭和十八年三月三十一日

海軍省經理局長

關係各廳長殿

本邦及中南支間旅行者ノ通貨交換ニ關ス
ル件通知

四月一日以降中南支(海南島ヲ除ク)ニ於ケル軍用手
票ノ新規發行ヲ廢止シ該地域ニ於ケル使用通貨ハ中央
儲備銀行券ト定メラレ候ニ付テハ自今首題ノ件ニ關シ
テハ左記ニ依ル儀ト了知相成度

記

一 交換ハ原則トシテ發地ノ交換場所ニ於テ行ヒ已ム
ヲ得ザル場合着地ノ交換場所ニ於テ行フコト

二 交換場所

軍人軍屬ニ付テハ從來ノ軍用手票引換場所及引換機
關ニ同シ

海軍公報(部内限) 第四千三百五十八號

昭和十八年四月六日

三〇三

其ノ他ノ者ニ付テハ

東京、横濱、大阪、神戸、廣島、吳、門司、福岡、長崎、佐世保(以上日本銀行本支店、代理店及埠頭、飛行場等ノ派出引換所等)
上海、南京、廣東、厦門、汕頭(以上所在本邦銀行ノ一部及中央儲備銀行本支行等)

三 交換金額

旅行者一人ニ付本邦通貨二〇〇圓相當額以内

四 交換方法

交換ハ無手数料トシ交換率ハ本邦通貨一八圓ヲ儲備券一〇〇元トス

交換ヲ了シタルトキハ金額、日附等ヲ渡航證明書、身分證明書等ニ適宜記載シ交換濟印ヲ捺捺ス

五 臺灣及中南支問旅行者ニ對スル場合

交換場所左記ノ外前各號ニ準ズ

臺北、基隆、高雄(以上臺灣銀行本支店)

上海、廣東、厦門、汕頭(以上中央儲備銀行支行及臺灣銀行支店)

(備考)

現行ノ軍用手票ヲ本邦通貨ト引換ヲ爲スコ

トハ從前通之ヲ行フ

經豫第三號ノ七〇

昭和十八年四月一日

海軍省經理局長

關係各支出官
關係各資金前渡官吏 殿

日本銀行代理店ヲ馬來ベナン其ノ他ニ設置ノ件通知

國庫事務ヲ取扱フ日本銀行代理店ヲ馬來「ベナン」、同「クアラランブル」、小スンダ列島バリ島「シンガラジャ」、西ニューギニア「マノクワリ」及東ニューギニア「ツエワク」ニ設置、昭和十八年四月一日ヨリ之ガ事務ヲ取扱フコトト相成候

○ 辭令

軍令部出仕海軍少佐 小澤 英夫

特務班班員ヲ命ス(二五五)軍令部)

軍令部部員海軍少佐 安村 對一

第三部第六課勤務ヲ命ス(二四四)同)

海軍少佐 安村 對一

參謀部第三部第六課兼報道部第一課勤務ヲ命ス(二四四)大本營海軍部)

海軍中佐 高瀬 五郎

第四課勤務ヲ命ス(三三〇海軍省軍務局)

海務局事務官補 小林 祐一

東京海軍監督官事務所横濱商船部ニ要スル經費支拂
ノ爲資金前渡官吏ヲ命ス(三三〇海軍省軍務局)
局長) 海軍省經理

○ 雜 款

○司令驅逐艦變更

第十一驅逐隊司令ハ三月三日司令驅逐艦ヲ初雪ニ變更
セリ

○司令驅逐艦指定

第二十二驅逐隊司令ハ三月十四日司令驅逐艦ヲ文月ニ
指定セリ

○司令潜水艦變更

第一潜水隊司令ハ三月二十四日司令潜水艦ヲ伊號第二
十一潜水艦ニ變更セリ

○司令潜水艦變更

第十八潜水隊司令ハ三月二十六日司令潜水艦ヲ伊號第
百五十三號潜水艦ニ變更セリ

○司令艇變更

第二百二十五驅潛隊司令ハ二月七日司令艇ヲ楡丸ニ變更
セリ

第二十二潜水隊司令ハ三月二十五日司令艇ヲ伊號第百
八十潜水艦ニ變更セリ

○開隊

當隊四月一日開隊ニ付當隊ヘノ轉勤者ハ左ニ依ラレタ
シ

旅行方法(順路)

藤澤驛經由小田急線西大和驛下車(軌道一五、五料)

陸路一里未滿(徒歩約十五分)

追テ郵便物發送先ハ

神奈川縣高座郡大和村

(厚木海軍航空隊(假稱))

○訂正

昭和十七年十二月十八日附公報(部内限)辭令欄二三
三二頁下段一三行目「大坪瑞樹」ノ報酬額「參千六百
圓」ヲ「貳千七百六拾圓」ニ訂正

○正誤

三月二十九日附公報(部内限)號外海軍省所管臨時軍
事費特別會計歳入歳出科目改正ノ件一申(返納金)ノ
解疏中「同十五年」ハ「同十七年」ノ誤

海軍公報(部内限)第四千三百五十八號

昭和十八年四月六日

三〇五

(別紙)

供給材料報告書 (昭和、年、月分)

(昭和十八年四月六日公報 (部内限))

(内訳明細書別紙ノ通)

計							供給先	
							、、月分供給高	
							前月迄供給高	
							累	
							計	
							記	
							事	

2352

(別紙)

供給材料明細書

(昭和十八年四月六日公報(部内限))

計							供給先
							品名
							数
							種
							数
							量
							金額
							用途

海軍公報

(部内限) 第四千三百五十九號

海軍大臣官房

昭和十八年四月七日(水)

○通牒

官房備機密第七號ノ一五

昭和十八年四月七日

海軍省 副官

各廳長 殿

郵便物ニ關スル件通牒

内令提
要登載

昭和十七年官房機密第一二八〇號通牒首題ノ件別冊郵便物ニ關スル例規中左記ノ通改メラレ候

記

附録所在地區別符表(其ノ四)中「ヨカス 七四六」「カイマナ 七四七」「セルイ 七四八」「ソクダ 七四九」ヲ加フ

官房第三五九號

昭和十八年四月一日

海軍省軍務局長

關係各廳長 殿

雜役船ニ關スル件申進

左記舊海軍航空隊所屬又ハ所屬豫定ノ各雜役船ハ各其ノ下欄航空基地ニ所屬又ハ所屬豫定ノコトニ定メラレ候條可然取計相成度

記

舊海軍航空隊	航空基地
木更津海軍航空隊	木更津航空基地
美幌海軍航空隊	美幌航空基地
千歳海軍航空隊	千歳航空基地
三澤海軍航空隊	三澤航空基地
横濱海軍航空隊	横濱航空基地
元山海軍航空隊	元山航空基地
東港海軍航空隊	東港航空基地

海軍公報(部内限) 第四千三百五十九號

昭和十八年四月七日

三〇七

○ 辭令

氣象技師 中田 良雄
第五氣象隊附ヲ命ス(三月海軍省)

海軍機關學校教官海軍教授 長内 忠雄
貴官ハ帝大航空研究所及海軍技術研究所ニ於テ向フ
約一年間研究ニ從事スベシ

研究項目ニ關シテハ教育局長ヲシテ別ニ之ヲ指示セ
シム

(各通)

土浦海軍航空隊 倉町 秋次
教官海軍教授 同 君塚 文雄

貴官ハ東京文理科大學ニ於テ向フ約一年間研究ニ從
事スベシ

研究項目ニ關シテハ教育局長ヲシテ別ニ之ヲ指示セ
シム(以上三月海軍大臣)

第二課勤務ヲ命ス(三月海軍省兵備局)
海軍中佐 若槻 龍三

○ 雜款

○ 郵便物發送先

自今左ニ依リ發送相成度

臺灣高雄市廊後

(高雄警備府)

神戸市兵庫區和田崎町三丁目

三菱重工業株式會社神戸造船所内

(特務艦 山霜丸)

吳郵便局氣付

(軍艦 龍田)

横須賀防備隊氣付

(第十二號掃海特務艇)

高雄市廊後

(高雄海軍通信隊)

隊、伊三潛、伊七潛宛

當分ノ間 横須賀郵便局氣付

伊五潛、伊六潛宛

四月十五日迄ニ到着見込ノモノ

横須賀郵便局氣付 (第十軍用郵便所經由)

其ノ後ハ

横須賀郵便局氣付 (第七潜水隊)

<p>横須賀郵便局氣付 (第二十六號掃海艇)</p> <p>佐世保郵便局氣付 (第四十二海軍軍用郵便所經由) (軍艦嚴島)</p> <p>島風(艦)宛 舞鶴海軍工廠内廣瀬中佐事務所 (島風艦裝具事務所)</p> <p>宛先ハ下段ノ通記載ノコト但シ()内ハ記載セザル コト</p> <p>一 磯波 吳局氣付(第二十六軍用郵便所經由)磯波</p> <p>一 秋月 横須賀局氣付(第十一軍用郵便所經由)秋月</p> <p>一 初鷹 佐世保局氣付(第四十一軍用郵便所經由)初鷹</p> <p>一 夕雲、風雲、秋雲 横須賀局氣付(第十二軍用郵便所經由)夕雲、風雲、秋雲</p> <p>一 文月(第二十二驅逐隊司令、機關長) 横須賀局氣付(第十二軍用郵便所經由)文月、長月、臯月</p> <p>一 臯月(同主計長) 横須賀局氣付</p> <p>一 第六十七警備隊 横須賀局氣付 [ウ六八 ヲ貳參四]</p>	<p>同 分遣隊 横須賀局氣付 [ウ六九 ヲ貳參四 ヲ貳四七]</p> <p>一 第二十五特根コカス派遣隊 吳局氣付(第二十九軍用郵便所經由) [セ四六 セ六六 セ四八]</p> <p>同 ホーランヂヤ派遣隊 同 [セ四壹 セ六六 セ四八]</p> <p>同 カイマナ派遣隊 同 [セ四七 セ六六 セ四八]</p> <p>同 セルイ派遣隊 同 [セ四八 セ六六 セ四八]</p> <p>同 ソクデ派遣隊 同 [セ四九 セ六六 セ四八]</p> <p>一 伊二十九潛司令、伊二十七潛 佐世保局氣付(第四十一軍用郵便所經由) 伊二十九潛司令、伊二十九潛、伊二十七潛</p> <p>一 吳鎮第七特陸 横須賀局氣付 [ウ五〇 ヲ貳四貳]</p> <p>一 金剛司令部、金剛、榛名 横須賀局氣付(第三十五軍用郵便所經由)金剛司令部、金剛、榛名</p>
--	--

海軍公報(部内限)第四千三百五十九號 昭和十八年四月七日

○練習生採用試験問題送付ニ關スル件照會
當隊遠隔且交通極メテ不便ノ地ニ進出致候條首題ノ件
ハ左記宛航空便ニテ直送相成度
横須賀郵便局氣付 ヅ一〇五 ヅ二二三(急送扱)
(第十一防空隊)

○學生入校期日
客年九月七日官房機密第一一二七五號ニ依ル本校第九
期特修科學生ハ五月四日始業式ニ付其ノ前日迄ニ着校
セシメラレ度
(海軍機雷學、校)

○事務開始
山霜丸事務所ハ三月二十三日神戸市兵庫區和田崎町三
丁目三菱重工業株式會社神戸造船所内ニ設置シ事務ヲ
開始セリ

第二十一海軍航空廠出水補給工場ハ四月一日鹿兒島縣
出水郡出水町ニ於テ事務ヲ開始セリ

○殘務整理
第七〇三海軍航空隊(舊千歲海軍航空隊) 殘務整理ハ
三月十六日第四十一航空基地隊内ニ於テ事務ヲ開始セ
リ
追テ郵便物ハ左ニ依リ發送相成度
北海道千歲郡

千歲海軍航空基地氣付
ソ五四殘務整理員

第十一設營隊殘務整理ハ三月二十四日ヨリ横須賀海軍
建築部内ニ於テ事務ヲ開始セリ
追テ郵便物ハ左ニ依リ發送相成度
横須賀海軍建築部内
第十一設營隊殘務整理員宛

○事務所移轉
第十號驅潛特務艇艇裝員事務所ヲ左ニ移轉セリ
追テ郵便物發送先ハ
舞鶴海軍工廠氣付

○事務所撤去
海防艦松輪艦裝員事務所ヲ三月二十三日撤去セリ
呂號第三十五潜水艦裝員事務所ヲ三月二十五日撤去
セリ
追テ郵便物發送先ハ
吳郵便局氣付 呂號第三十五潜水艦

第二十三號掃海艇裝員事務所ヲ三月二十七日撤去セ
リ
追テ郵便物發送先ハ
東舞鶴局氣付 第二十三號掃海艇

海防艦佐渡艦裝員事務所ヲ三月二十七日撤去セリ

追テ郵便物發送先ハ

横須賀郵便局氣付 佐渡

第五魚雷調整班設立準備事務所ヲ三月二十七日撤去セリ

追テ郵便物發送先ハ

吳局氣付 尾上丸

第二十六號掃海艇艦裝員事務所ヲ三月二十九日撤去セリ

第十二號掃海特務艇艦裝員事務所ヲ三月二十九日撤去セリ

第四十號驅潛艇艦裝員事務所ヲ三月三十日撤去セリ

追テ郵便物發送先ハ

横須賀局氣付 第四十號驅潛艇

風早艦裝員事務所ヲ三月三十一日撤去セリ

追テ郵便物發送先ハ

横須賀郵便局氣付 特務艦風早

○正誤

三月十六日附公報(部内限)郵便物發送先中「第三、

第四掃海艇ハ掃海特務艇、第百二、第百三、第百十一、

第百十二、第百十三號驅潛艇」ハ「驅潛特務艇」ノ誤

海軍公報(部内限) 第四百千三百五十九號 昭和十八年四月七日

三一

海軍公報 (部内限) 號外

○ 通 牒

艦本機密第一號ノ四〇六八

昭和十八年四月一日

海軍艦政本部總務部長

關係各廳長殿

揮發性溶劑取扱ニ關スル件照會

今般左圖ノ要領ニ依リ「エーテル」ヲ地ト隔縁セル金
 屬製漏斗ヲ通ジ「タンク」ニ注入申發火セル事故アリ
 之ガ原因調査ノ爲實驗ヲ施行セルニ同一要領ニ依リ
 「エーテル」、「アセトン」、「ガソリン」等ノ揮發性溶劑
 ヲ容器ニ注入スル時 (特ニ漏斗内ニ渦動アル場合) ハ
 漏斗ニ帶電シ放電發火ノ可能性アルコト確認セラレタ
 ルニ付テハ自今此ノ種作業ニ當リテハ右留意ノ上事故
 防止ニ努メラレ度

海軍公報 (部内限) 號外

昭和十八年四月七日 (水)
海軍大臣官房

